

竹原市の財政指標の状況を紹介します！

(単位：%)

年 度	経常収支比率	類似団体における 経常収支比率	財政力指数 ※ 1	公債費負担比率 ※ 2	公債費比率 ※ 3	起債制限比率 ※ 4
平成21年度	91.7	—	0.687	11.2	8.7	7.9
平成20年度	94.7	92.8	0.710	13.5	10.5	8.7
平成19年度	99.6	94.8	0.704	14.4	11.2	9.1
平成18年度	94.9	93.7	0.688	13.6	11.7	9.4
平成17年度	90.4	94.1	0.669	14.0	12.0	9.9
平成16年度	95.8	95.2	0.674	14.3	13.1	9.8

- ※ 1 財政力指数とは、普通交付税の算定に用いる基準財政需要額と基準財政収入額を比較した指標で、過去3ヵ年を平均したものを用います。財政力指数が高いということは、必要な財政需要を充たす財源のうち、市税収入など自主財源の割合が高いことを表します。
- ※ 2 公債費負担比率とは、公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に対する割合で、一般的には財政運営上15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされています。
- ※ 3 公債費比率とは、標準税率を適用した税収入額と普通交付税を合算した額（標準財政規模）に対する地方債元利償還金の割合であり、財政構造の健全性が脅かされないためには、10%を超えないことが望ましいとされています。
- ※ 4 起債制限比率とは、地方債の許可制限に係る指標として地方債許可方針に規定されたものであり、過去3年間の平均が20%以上になると地方債の発行が制限されます。